

境港市民交流センター（仮称）基本設計（案）市民説明会

日 時：平成29年1月20日（金）19時～20時30分

場 所：市民会館大会議室

参加者：20名

<内 容>

1. 教育長あいさつ
2. 基本設計（案）についての説明（石本建築設計事務所 能勢氏）
 - ・プロポーザル案の説明
 - ・修正図面（各案）の比較結果を説明
3. 説明（生涯学習課長）
 - ・設計図面の修正に関する経緯等の説明
 - ・今後のスケジュールについての説明

4. 質疑応答

質問）施設の屋根に設置する庇は、風速70mなどの強風やH23年に起きた程度の大雪にも耐えられるか？ 施設内を南北に貫くストリークの横幅は何mか？

⇒庇の強度は建築基準法に定める基準を満たすよう設計しており、瞬間風速60m程度まで対応可能。東側の窓は直射日光が射し込むが、概ね午前10時以降は庇で遮ることができるよう設計しているので、早朝のみ、ブラインドなどで日光を遮る必要がある。大雪も想定済。南北を貫くストリークは結果的に設置しないことになったが、横幅は8mを想定していた。

質問）施設の建設費用及び防衛省からの補助額は？

⇒建設費は約44億円。防衛省の補助額については、防衛省を経て、最終的には財務省の査定が出ないと分からない。

質問）自衛隊関連資料の常設展示は、市の建物にふさわしくない。常設が補助の条件か？特に、図書交流機能の中に設置する防災・自衛隊関連の本が多過ぎると思う。

⇒防衛省の補助は防災拠点の整備・自衛隊員との交流が条件となっているため、その一環として自衛隊関連資料の展示を考えている。防災・自衛隊関連の本の冊数は、図面には予定として記してあるが、まだ決定していない。

質問）国の補助を受けても、残り15億程度は市の負担になる上、別途、解体費も必要。建設にあたっては、余分な費用をかけず、効率的な建物にしてほしい。その意味では、今回、施設内のストリークを作らず、ホール客席イスの床下収納をやめたのは合理的だと思う。

⇒H29年度に解体設計、H30に解体を予定。費用は約3億円を見込んでいます。

質問）施設の維持費はどの程度を想定しているか？

⇒施設の冷暖房設備等、未定の部分が多いため、現段階で施設の維持費は把握できていない。

質問）1Fにイベントができるスペースがあった方がよい。

⇒小規模なイベントはエントランス、大規模なイベントはホールで開催可能。

質問) 2Fに中庭を設置する話が急に出てきた。中庭のコンセプト・利用について聞きたい。

⇒2F会議室周辺が暗いので、当初の会議室の配置を一部変更し、採光のため中庭を設ける方向で考えている。

質問) 市民活動センターはさまざまな活動に使われており、市民に不可欠な施設である。今後はどのような形になるのか？

⇒現在、市民会館内で活動している各団体の今後については、移転を検討するよう各担当課に指示しているところであり、市民活動センターについても、現在のところ移転先などは具体的には決まっていない。

質問) 現在の展示室は無料で使え、さまざまな団体の活動に使われているが、新施設ではどうなるのか？運営方針を聞きたい。

⇒利用料金は新施設の管理運営計画で定める予定。要望として伺った。

質問) 図書交流機能のスペースが狭い。市の人口から積算すると、3,000㎡程度が妥当。中庭や吹き抜けをやめて図書交流機能のスペースを増やすことはできないか？同規模の都市(類似団体)の図書館の平均面積を新施設の根拠にしているとのことだが、そこには古い図書館も含まれているのか？また、「子育てするなら境港」を掲げている本市にあって、図書交流機能の中に中高生の居場所や相談場所があると良い。

⇒平均面積に古い図書館を含んでいるかについては、確認させていただく。中庭をやめて図書交流機能のスペースを増やすと、床面積の増加につながるので難しい。現在、高校生の中には、市民活動センターや市民会館の入口を電車の待ち時間に使っている生徒がいる。新施設では、会議室やエントランスを中高生の交流場所として使用できないか、管理運営計画の中で検討していく。

質問) 機械室は2Fに想定してあるか？

⇒当地は津波の浸水区域には含まれていないが、念のため、機械室・防災室は2Fへの配置を予定している。

質問) 図書交流機能・ホールなどに授乳室・ベビーベッドがほしい。

⇒図面には記していないが、設置の予定である。